



銚子新大橋(仮称)
完成予想図

「新しい時代の基礎づくりに全力投球」

新年明けましておめでとうございます。
昨年、年明け早々歴史に残る事件が多発し、
多くの問題が提起されました。

阪神淡路大震災・オウム真理教事件・銃使用
犯罪・金融機関の倒産・いじめ問題等々、多くの
事件が発生し、我が国にとって未曾有の年で
ありました。そういう中において、人間にとっ
て何が幸せなのか、本当の豊かさとは何かとい
う事を改めて考えさせられた年でもあったと思
います。一方私達の地元鹿島郡においては、
「鹿嶋市誕生」が象徴するように新しい時代に
向けてのスタートがなされました。

まさに時代の節目であります。21世紀まで
あと4年。次の時代への継ぎ役として、また政
治に携わる一人として、責任の重さを再認識し、
郷土茨城発展の為、全力投球して参る所存でご
ざいます。尚一層のご支援・ご指導をお願い申
し上げ、本年が皆様方にとりまして、平和な年
であります様ご祈念申し上げまして、新年のご
挨拶と致します。

茨城県議会議員

後援会 会報・NO・5

西条昌良

1996

News

西条昌良議員の若さ溢れる行動力に期待します。



茨城県知事
橋本 昌

新年あけましておめでとうございます。皆様にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

西条昌良先生には、県議会において活発なご活動を展開いただいているところであり、深く感謝申し上げます。

私は本年も、「茨城県長期総合計画」のもと、「新しいゆたかさ」かがやく未来、愛されるいばらきをめざして」をキャッチフレーズに21世紀に向けての新しい茨城づくりに全力で取り組んでまいりたいと思っております。

高速道路や港湾など、県土の発展基盤の整備と併せ、生活関連道路や上下水道の整備、福祉・保健・医療の充実や教育・文化の振興などを推進し、県民の皆様誰もが、快適な環境の下で、安心して安全に、生き生きと暮らせる、ゆとりとうるおいに満ちた魅力あふれる郷土の実現を目指してまいります。

皆様方のなお一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



茨城県議会議長
小川 栄次郎

新年明けましておめでとうございます。

西条議員は、地元鹿島郡の皆様方の力強いご支援のもと、県議会においては一期目にして早くも環境商工委員会副委員長に推挙され、現在は総務企画委員会災害対策調査特別委員会の委員としてご活躍頂く一方、自民党茨城県連では青年局長を務められるなど、その政治手腕を遺憾なく発揮され、若手議員のホープとして大きく期待されております。

また昨年、福島県において開催されました国民体育大会協賛・全国都道府県議会議員野球大会においては、持ち前の積極性を活かし本県チームを準優勝に導くなど、その若さ溢れる行動力は誠に頼もしい限りであり、明日の茨城県政を担うにふさわしい政治家であると確信致しております。

平成8年の輝かしい新春を迎えるにあたり皆様方のなお一層のご支援をお願い申し上げますと共に、西条議員の益々のご活躍と皆様方の御健勝、御多幸をご祈念申し上げます。



鹿嶋市長
五十里 武

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年の鹿嶋市誕生に際しましては暖かいご理解とご協力をいただきまして、心から厚く感謝申し上げます。

早いもので、西条先生が堂々の二選を果たされてから一年が過ぎました。

この間の鹿島地域の発展に向けたご活躍はさわやかでエネルギーギッシユ、そして要所で核心を衝くご奮闘ぶりでした。政治に対する真摯さと限らない情熱を折あるごとに目の当たりにできることは、同じ道にある者としてまことに清々しい思いです。

昨年は想像を超えるできごとが頻発し、世紀末をひかえて政治と社会が混沌をきわめる感があります。いま問われているのは戦後日本が忌避し続けてきた社会と人間に対する根本的な深い洞察、つきつめていえば哲学の不在ではないでしょうか。

そういう問題に政治のレベルでこそ真剣に対処する必要があると自省せずにはいられません。西条先生もまた同じ感慨であらうと思えます。

先生の情熱に期待してやみません。



神栖町長
岡野 敬四郎

平成8年の輝かしい新春を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。

西条昌良後援会の皆様方には、新年を迎えられ、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

また、西条県議におかれましては、更なる躍進の年であり、より一層のご活躍に期待するところ大であります。

現在、鹿島地域は開発の恩恵とその歪みの中にあり、また、新たな開発途上において、県政との良好な関係を維持しつつ、更なる発展を画して参らなければなりません。

こうした折、白砂青松の地に育まれた西条県議の高邁な政治信条を遺憾なく発揮され、鹿島地域のみならず茨城県政発展の原動力となられん事を心から願うと共に、西条昌良後援会の皆様方のご多幸をご祈念申し上げます。年頭に当たつての激励のことばと致します。



波崎町議会議長
田中 丈夫

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、皆様の益々のご健勝とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

西条県議におかれましては、現在総務企画委員会に属し、県議会の中でも最も大事な分野を受け持っております。

また、平成七年度第一回県議会におきましても、県政に対する基本姿勢や、道路整備・基幹産業（水産業）・合併問題等を含む鹿島地方の地域振興についてなど、十項目にわたって建設的かつ鋭い質問・提言をされてまいりました。その活躍は、正に素晴らしい一言につきるものであります。

新人も二期目となれば新人ではなくなりますが、これからが正念場です。どうかこれからも初心を忘れることなく、何時も「笑顔」で「若さ」で「行動力」で、そして「情熱」を持って地域住民の幸せの為に尽力賜りますようお願い申し上げますと共に、尚一層のご活躍と「西条昌良後援会」の益々のご発展を心からお祈り致しまして私のご挨拶と致します。

平成七年度第一回茨城県議会一般質問に登壇

毎年欠かさず一般質問を行うなど若手議員として出色の活躍を見せる西条昌良県議は、改選後初の第一回定例県議会に早くも登壇。心意気も新たに現実の問題を多角的にとらえ、あふれる情熱を壇上にたたきつけたら鹿島地域の未来を熱く語った。

町村合併の促進

Q1 西条県議

私は初当選以来、鹿島三町の合併の必要性を訴えてきた。鹿島港を中核とした国際臨海工業都市として発展し続けるためには、小異を捨てて大同団結し、今、合併に踏み切らなければならぬ。そのためには地域づくりの理念と将来に対する明るい展望が重要だ。将来像を関係町村で協議し、住民に提示させることが大切ではないか。

A 総務部長 合併の円滑な実現を図るため、鹿島地域の将来像を踏まえた建設計画を広く地域住民に提示し、まちづくりの基本方向について理解と協力を求めている。

地域振興に結びついた土地利用調整

Q2 西条県議

ウルグアイラウンド合意を契

機に農政は大きく転換しつつある。国から地方への権限委譲を促進し、土地利用にかかわる規制を可能な限り緩和することにも、計画的な土地利用調整ができるシステムをつくる絶好の機会ではないか。地域の振興に結びついた土地利用調整のあり方が望まれるが、知事に許認可権がある農村地域活性化制度や広範な農地転用の許可を、地域の特性に合わせて柔軟に対処できるように、農業振興地域の指定見直し、農振農用地の規制緩和をする必要がある。

A 知事 県としても西条議員と同様の感じを抱いており、国に対し、農地の転用許可等の権限委譲や規制緩和を要望していきたい。

新たな新総合交通体系の構築

Q3 西条県議

鹿島臨海工業地帯の将来を考えると、新しい交通体系の構築に、今、取りかからなければ、企業の活動環境は極めて厳しくなるだろう。地域住民の安全と快適な生活の確保、二十一世紀にも活力ある工業地帯であるために対岸の千葉県をも含め、自動車、船舶、鉄道それぞれの特性を十分に発揮し活用できる新

たな新総合交通体系の構築を私は強く訴えたい。

広域的に利用する自動車専用道路、自動車の通行機能を重視する片道二車線以上の道路、沿道アクセスや滞留機能を兼ね備えた多機能道路、地区内利用が主の生活道路に区分し、整備の方向づけをすべきではないか。鹿島港の臨海地区を広域物流ネットワークの拠点と位置づけ、物流の効率化・国際化に対応したサービスヤードを整備すべきだ。

鉄道は、中長期的視点から、鹿島臨海鉄道を土合国地まで延長し、さらに利根川対岸のJR線と結びつこうと真剣に検討願いたい。

A 企画部長 西条議員の指摘通り、今後は道路、港湾、鉄道を有機的、広域的に結びつけていくことが、鹿行地域発展の要点だと考え、検討していきたい。

国道二四号の四車線化

Q4 西条県議

県は県土六十分構想のもと、道路ネットワークの構築を進めているが、その実現のためには、一刻も早く東関東自動車道水戸線の潮来町から鉾田町にかけてのルートを予定路線から基本計画路線への格上げが必要。私が提案する潮来インターと波崎町

を結ぶリバーサイドロード、新神宮橋と国道五一号新設部分の早期着工、国道二四号の四車線化など、幹線道路の整備を強く求めたい。

A 土木部長 国道二四号の四車線化については、国道五一号鹿島バイパスから鉾田新大橋（仮称）の取り付け力所までの延長二七キロについて、一部区間八車線を含め、前線四車線で整備する計画となっている。

サッカースタジアムの増設

Q5 西条県議

平成六年九月、鹿島郡・行方郡南部の五町村住民六万七千名によるワールドカップ招致の署名陳情が知事に提出された。一カ月足らずでまとめられたこの数は、地元住民の限らない期待を表している。日本招致委員会を積極的に支援し、現地調査の準備に万全を期するためにも、サッカースタジアムがいつ増設されるのか、大きな関心が寄せられている。当面の対策としてバックスタンドなどは速やかに工事着工できるように、準備に踏み切るべきだと考えるがどうか。

A 企画部長 平成八年四月、五月にかけて、国際サッカー連名の現地調査が予定されているが、その結果を踏まえ、工事着手の時期や箇所を検討していきたい。

高度医療基幹病院の整備

Q6 西条県議

鹿島労災病院への産婦人科・小児科などの増設と高度医療システムの確立による総合病院化を求めたが、その見通しと、行方郡への高度医療基幹病院の設置にどう対処していくのか。

A 衛生部長 鹿島労災病院の総合病院化については、同病院運営協議会に資料を提出し慎重にご協議いただく。基幹病院の行方郡設置については県として最大限の協力をする。

水産業の振興

Q7 西条県議

漁業資源減少による漁業関係者への打撃は深刻だ。施網漁業の資源が回復するまでの間、漁業経営の維持・存続を図るため、低利で償還期間の長い運転資金を新設することにも、保証額の拡大に対する措置を求めたい。

A 農林水産部長 県、地元の市・町、関係団体による貸付財源を造成し、農林漁業信用基金の理解を得て、保証と貸付枠の拡大を図っていきたい。



写真で見る 議員活動



▲H.7.7.30 海岸清掃



▲H.7.7.30
海外留学生を招待して自民党県連青年局と
合同の地曳き網&バーベキュー



▲H.7.10.30
カシマサッカースタジアム施設調査



▲H.7.10.30
県栽培漁業センター（ヒラメ養殖等々）



▲H.7.5.25
総務企画委員会県内調査
防災ヘリについての説明を受ける



H.7.11.4
自民党県連青年局表敬訪問園長として
ホセ・リサルパークにて献花式（フィリピン）

'95 年をふりかえって（主な行事の抜粋）

1. 9 初登庁
2. 7 銚子新大橋 起工式
- 2.25 第40回自民党県連大会に於て青年局長就任
3. 6～ 3.24 第1回定例会議（一般質問に登壇）
- 4.10 ゆーぽーとはさき 竣工式
- 5.20 自民党県連青年局大会
- 5.25～26 総務企画委員会県内調査（県南地区）
6. 6～ 6.16 第2回定例会議
- 6.22 国道124号 鹿島バイパス開通式
- 6.28～ 6.30 総務企画委員会県外視察（北海道）
- 7.30 後援会・自民党県連青年局合同バーベキュー・地曳き網
- 8.19～ 8.21 全国都道府県議員野球大会（福島）
- 8.22～ 8.23 災害対策調査特別委員会県外視察（阪神・淡路地区）
- 8.24～ 8.26 議員会県外視察（北海道）
9. 5～ 9.22 第3回定例会議
- 9.27～ 9.28 総務企画委員会県内調査（県北地区）
11. 4～11. 7 自民党県連青年局親善訪問（フィリピン）
12. 6～12.22 第4回定例会議



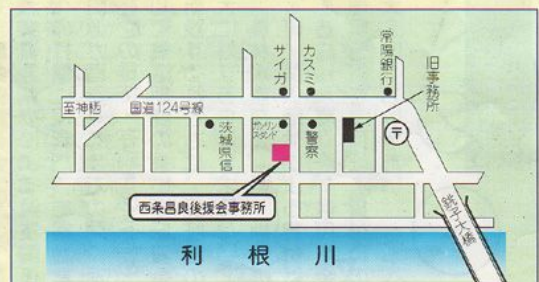
▲H.7.5.20
自民党茨城県連青年局長就任後 初の研修大会

事務所移転のお知らせ

このたび、後援会事務所を下記の通り
移転致しました。

どうぞ、お気軽にお立寄り下さい。

住 所 波崎町8440-5
TEL 0479 (44) 5044



発行 平成八年一月九日
後援会会長 西条昌良後援会
事務所 波崎町八四四〇ノ五
TEL 0479(44)5044

あ
と
が
き
皆様のあたたいご支援
のもと、再び県政に送り
出させていただきました。
一年がたちました。地元鹿
島地域発展のため、更なる
努力を傾注する西条昌
良に対し、今後とも、皆
様の率直なご意見をお寄
せいただき、ご支援、ご
協力を賜りますよう、よ
ろしくお願い申し上げます。